

# 二葉葵の育て方

返却日・郵送での返却受付などはホームページでご案内しております

<http://www.afuhi.jp/>

## 1 ポット苗を植え付ける

二葉葵の苗はポット苗でお渡しいたします。そのままでは十分に成長しませんので、大きめの鉢に植え換えてください。

※鉢への植え替えは気温の高くなる6月半ばまでが適期です

### 植え付け方法

底にゴロ石を敷き市販の培養土で植えつけます。元肥は特に必要ありません。



15cm(5号鉢)に1株、24cm(8号鉢)に3株程度が目安

### POINT

鉢選びは深さより口の広さで



○平鉢 ○鉢 ▲長鉢

プランターでもOKです

### 基本的な水やり

土の表面が少し乾いたら、底から水が流れるくらいたっぷり水を与えます。



### POINT

1年を通して土を乾しすぎない

### POINT

水受け皿に水をためない



## 2 屋外で1~2年\*育てる

二葉葵は早春から伸長し、春~夏にかけて栄養を蓄え、冬には葉を落とします。見た目の変化が少ない植物ですが、翌春にはひと回りふた周り成長し、開花も楽しむことができます。

※生育環境や個体差によって生育の状態が異なります

### 夏期

気温が高くなり、土の乾きが早くなります。水やりは朝夕2回、土の状態を確認して乾いていたらたっぷり。寒冷紗やスダレを使った日よけも◎!

### POINT

強い日差しや乾燥に当てると自ら葉を落とします



### 春期

暖かな春の日差しを感じる春先は、日なたで日光をたっぷり与えてください。日差しが強くなるゴールデンウィーク以降は直射日光の当たらない日陰で育てます。

### POINT

この時期は目に見えて生育します



### POINT

4月頃に薄紫の花を咲かせます。花は完全に枯れるまで取らない

### 秋期

だんだんと枯れる葉が出てきます。引き続き強い日差しに注意しながら風通しの良い日陰で管理しましょう。

### POINT

葉が枯れても水やりを忘れずに



### POINT

穂先には翌年の新芽が確認できます

### 梅雨時期

水分を好む植物ですが、長雨に当たると根ぐされの原因となります。また、梅雨の合間の強い日差しが当たらないよう、特に注意してください。

### POINT

鉢に水が溜まる場合は軒下へ移動



### 冬期

葉を落として翌年のための準備を始めます。寒さにはめっぽう強く、屋外で年末~年明けにかけて新芽が充実します。植え替えもこの時期がオススメです。

### POINT

新芽が次第に充実します



### POINT

茎にある突起が土につくとそこから発根して広がります

## 3 奉納(里帰り)へ

十分に生育した二葉葵は、株分けすることで更に元気に育ちます。その一部を神社にご返却ください。祭事に適した株は「葵桂」に加工し葵祭や神事に、小さな株、大きく成長しすぎた株は上賀茂神社境内に移植し、繁殖に役立てます。

### 株分けと奉納

順調に育つと種からも発芽し、鉢いっぱいになり広がります。事前に株分けし、一部を返却日に上賀茂神社 社務所までお持ちください。

### POINT

鉢が混みあう頃が里帰りの目安です



### POINT

移植などで思い切りよく土ごと半分に分ける

### 一部を神社へ返却

※返却時の鉢の形態は問いません。新聞紙で土を包むだけでも可



残りは元の鉢に戻し引き続き育ててください

### ご奉納いただいた株は...

葵祭の「葵桂」に加工

神社境内での繁殖株



として大切に使用させていただきます